



# DOCOMO TEAM DANDELION RACING

## Team Release

### 決勝レポート

2025/7/20 Rd-7 FUJI SPEEDWAY

天候：晴れ 気温：29°C 出走台数：22台

観客数：18日(金)3,200人、19日(土)22,900人、20日(日)27,300人 合計53,400人

午前中に行われた予選に続いて開催された第7戦決勝。

14:20 から開始されたスタート進行だったが、サーキットのタイム計測装置のトラブルでスケジュールは大幅ディレイ。レーススタートは予定より 40 分以上遅れることになった。2番グリッドスタートの太田選手は素晴らしいスタートを決め、1コーナーでトップを奪う。しかし 13コーナーで坪井選手に先行され 2位キープでオープニングラップを周回。牧野選手もいい蹴り出して 2台をパスし 7番手に上がる。

タイヤ交換ピットウィンドウのない本大会、序盤からタイヤ交換をするライバルがいる一方、チームはレース中盤でのピットインタイミングを計っていた 18周目、トラブルでストップしたマシン発生のためセーフティーカーが導入されるとタイヤ交換を済ませていなかったマシンは全車ピットトレーンへ。

チームは太田、牧野の順でダブルピットストップをミスなく済ませコースに送り出す。

この時点で太田選手 3番手、牧野選手はダブルストップの影響で 8番手。

24周目にレースが再開されると、3番手太田選手は上位 2台が激しくトップ争いをするのを冷静に見定めオバーテイクシステム(OTS)とタイヤを温存。残り 9周で一気にトップ浮上すると、毎周 1秒近くリードを広げ圧巻のトップチェックカー。

牧野選手は 7番手争いを繰り広げるが届かず、9位でレースを終えた。

#### 5：牧野任祐 選手 9位

スタートが決まり、セーフティーカーが入るまでのペースは昨日よりもフィーリングよく、しかしトップに比較すると 0.2 秒ほどのペース差がありました。

富士公式テストでの好感触が再現できず、この週末通してもはつきりとした解決策も見いだせていないので、次戦 SUGO に向けてはこの結果をよく検証しなければいけません。シーズン後半で巻き返すことが出来るよう取り組みたいと思います。

#### 6：太田格之進 選手 1位

レースペースに自信あり、ポテンシャルもあり、決勝は我慢のレースというか、どこかでトップに出る気持ちで、タイヤと OTS をマネジメントしながらチャンスを狙っていました。富士で優勝できましたし、後半残り 2回の富士にも自信を持って臨むことが出来ます。自分自身の中では、これまでで最高のレースだったと感じています。